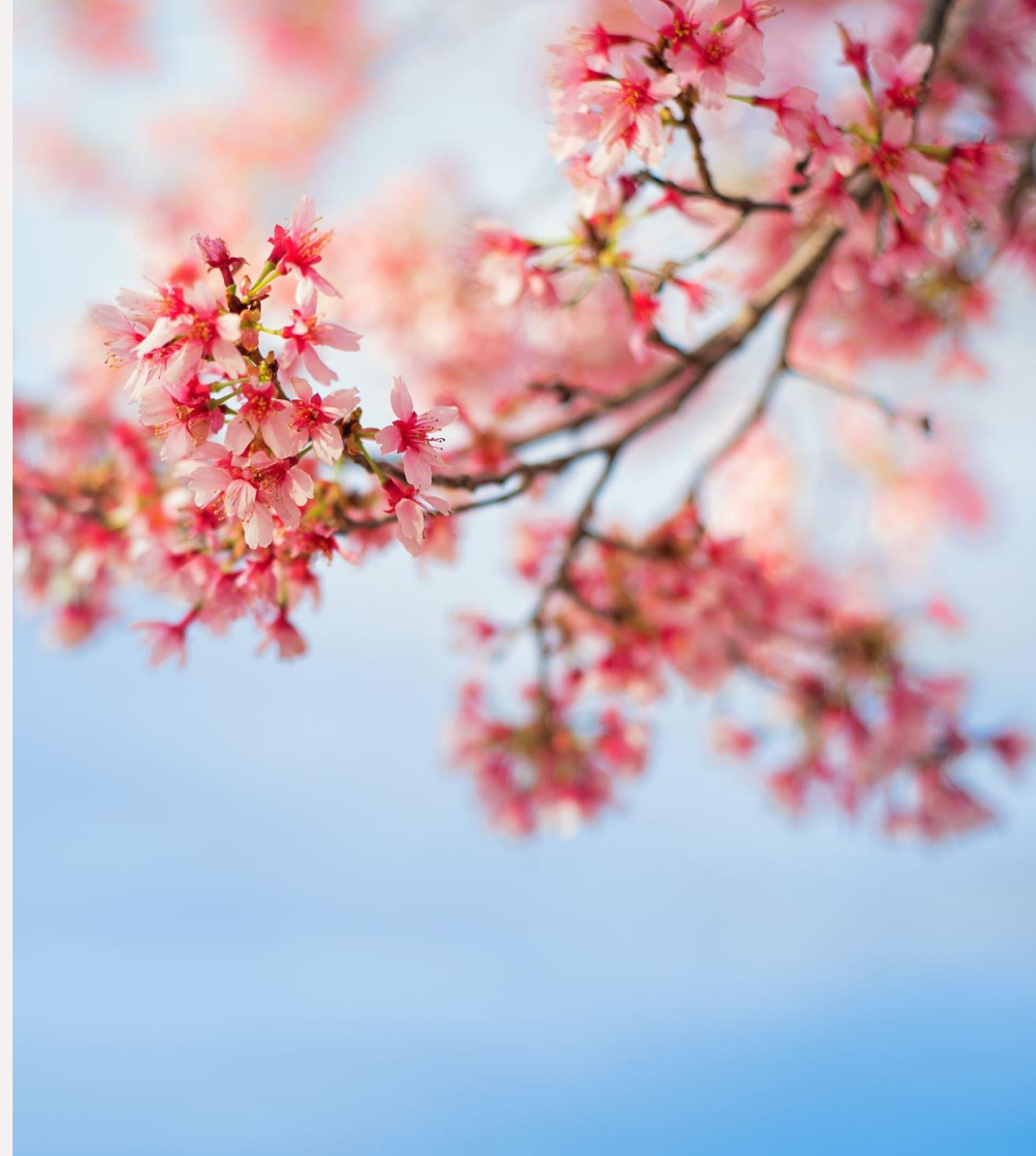


『日本語日常会話コーパス』 を利用した 指示語の用法の識別

田嶋明日香 星野祐子 高崎みどり



2021年3月4日 シンポジウム「日常会話コーパス」VI

発表概要

1. 背景と目的
2. 「そう」「こう」「この」の機械的判断
3. 「そう」「こう」「この」の映像データ分析
4. まとめ

背景と目的 出発点

シンポジウムⅣ 2019.8.30

「日本語日常会話コーパスを利用した指示語と身振りの研究」
(高崎みどり 星野祐子 田嶋明日香)

→ 日常会話における指示語と身振りの関係を観察。

その中で...

→ 指示性の希薄なもの≡フィラーを区別する必要が生じる。

背景と目的 CEJCにおけるフィラー

表1 CEJCにおけるフィラー認定

基本表現	あ(ー), い(ー), う(ー), え(ー), お(ー), ん(ー), と(ー)*, っと(ー)*, あ(ー)(ん)(ー)の(ー)*, そ(ー)(ん)(ー)の(ー)*, う(ー)ん, う(ー)ん(ー)(っ) と(ー)*, ん(ー)(っ)と(ー)* あ(ー)(っ)と(ー)*, え(ー)(っ)と(ー)*	
組み合わせ	上記基本表現 + 「ですね (:)」 「っすね (:)」 上記*付きの表現 + 「ね (:)」 「さ (:)」	例) あのですね: 例) とね:, んーっとさ:

* 出典：臼田泰如, 川端良子, 西川賢哉, 石本祐一, 小磯花絵 (2018) 「『日本語日常会話コーパス』における転記の基準と 作成手法」, 国立国語研究所論集 15, p.180

「これらの形式であっても**場つなぎ機能を有していないもの**や,
場つなぎ機能を有しているが表1 の形式ではないものは,
フィラーとはみなさない。」

背景と目的 CEJCにおけるフィルター

表2 コソアドとフィルターの関係

※頻度はCEJCモニター公開版（2018年度版）より算出

系	語彙素	語彙素読み	品詞	頻度
コ系	こう	コウ	副詞	1,781
コ系	此の	コノ	連体詞	1,117
ソ系	そう	ソウ	副詞	13,749
ソ系	其の	ソノ	連体詞	1,663
ソ系	その	ソノ	感動詞-フィルター	735
ア系	ああ	アア	副詞	98
ア系	あー	アー	感動詞-フィルター	154
ア系	彼の	アノ	連体詞	612
ア系	あの	アノ	感動詞-フィルター	4,354

「こう」
「この」
「そう」
はフィルターを区別せず

「その」
「ああ（あー）」
「あの」
はフィルターを区別

背景と目的 先行研究

フィラーとは…

『新版 日本語教育事典』

ことばを探したり、会話の順をとるための声出し。
また、一時的に文を述べることを中断するときに発する。

『研究社 日本語教育事典』

それらがなくても発話の意味に影響しないような音声。

背景と目的 先行研究

フィラーとは…

山根（2002）

それ自身命題内容を持たず、かつ**他の発話と狭義の応答関係・接続関係・修飾関係にない**、発話の一部分を埋める音声現象。

【機能】 沈黙回避 時間稼ぎ 整調 自発話確認 換言・修正
分割 継続示唆 不確かさ表明 注意喚起
発話促し 話者交替 躊躇 和らげ 理解障害 その他

＊先行研究をもとに山根（2002）が整理

背景と目的 先行研究

指示語由来のフィラーについて…

山根（2002）—フィラーの種類（1）～（11）の中で

（4）コーソー型：「コ（－）」 「コーネ」 「ソ（－）」
「ソーネ」 など助詞が付加されたものも含む

＊話し手が動作などでその状態を示すときに使用される「こう」、
応答冒頭の「ソーデスネ」は相づちととらえ、含めていない。

（5）コソア型：「コノ（－）」 「ソノ（－）」 「アノ（－）」
「アノネ」 など助詞が付加されたものも含む

＊人や物、直前の発話で述べられたことを指示する以外に用いられるもの。

→指示語由来のフィラーを限定的に捉えている。

背景と目的 先行研究

一方…

定延（2002） — 「うん」と「そう」を比較して

応答・気づき・フィラー等を含む感動詞「そう」は、
指示詞「そう」が**文法化**したものと位置づければ
感動詞「そう」には、**希薄だが（指示詞「そう」由来の）意味がある。**

坊農（2002） — 「うん」と「そう」を比較して

会話の応答箇所で発せられる「そう」は指示表現から派生したものであり、**指示性がある**といえる。

→ **指示語由来の感動詞・応答詞に、指示詞とのつながりを認めている。**
（連続的に捉えられる可能性）

背景と目的 先行研究

フィラーと意図の関係について…

定延（2013）ーフィラーのひとつの見方として

フィラーを心内行動を「意図的に伝達する」表現としてではなく、（演技によるものであろうと本心からのものであろうと）「あからさまに行う」行動としてとらえる見方。

「フィラー」は、自分の意図とはかかわりなく、勝手に相手に「伝達」されるのであって、**話し手がコミュニケーション行動としてフィラーで何かを伝達しているわけではない。**

背景と目的 目標

CEJCでフィラーとフィラー以外が区別されていない
「そう」「こう」「この」について、
映像・音声から指示性の強弱や機能を分析し、用法を判断
したい。

- ・ 指示性が希薄化した過程で、どのような意味や機能を獲得してフィラーとなりえたか。
- ・ 実際のやりとりの中でどのような働きをするか。

背景と目的 研究課題

研究課題① 機械的判断の段階

「そう」「こう」「この」の中に、フィラーの可能性のあるものがどれくらいあるか。

研究課題② 映像データ分析の段階

フィラーの可能性のある「そう」「こう」「この」について、実際の場面での身振り・視線・音声音調等についての観察から、フィラーであるかどうかを確定できるか。

背景と目的 研究課題

研究課題① 機械的判断の段階

「そう」「こう」「この」の中に、フィラーの可能性のあるものがどれくらいあるか。

研究課題② 映像データ分析の段階

フィラーの可能性のある「そう」「こう」「この」について、実際の場面での身振り・視線・音声音調等についての観察から、フィラーであるかどうかを確定できるか。

機械的判断 対象・方法

映像分析を行うため、
『日本語日常会話コーパス』 モニター公開版
50時間分（2018年度版）
を使用。

共起関係から、[副詞／連体詞] と [その他] に分類。

機械的判断 「そう」「こう」「この」の頻度

表3 指示語の頻度（上位10位）

順位	系	語彙素	語彙素読み	品詞	頻度
1	ソ系	そう	ソウ	副詞	13,749
2	ソ系	其れ	ソレ	代名詞	3,724
3	コ系	此れ	コレ	代名詞	3,082
4	コ系	こう	コウ	副詞	1,781
5	ソ系	其の	ソノ	連体詞	1,663
6	ア系	彼れ	アレ	代名詞	1,657
7	コ系	此の	コノ	連体詞	1,117
8	ド系	どう	ドウ	副詞	1,111
9	コ系	此処	ココ	代名詞	898
10	ソ系	其処	ソコ	代名詞	765

機械的判断 「そう」 13,749例の分類

A：用言と後方共起（後方2語までが用言） → 副詞用法

例) そうゆう そうは言っても

B：その他

B1：「そう」と共起（繰り返しの「そう」）

／ 発話末／ 助詞・助動詞と後方共起

→ **相槌・応答用法**

例) そう そう そう。 そうですね。

B2：相槌・応答以外 → フィラー用法が混在？

機械的判断 「こう」 1,781例の分類

A：用言と後方共起（後方2語までが用言） → 副詞用法
例） こうやって こう腕上げて

B：その他 → フィラー用法が混在？

機械的判断 「この」 1,117例の分類

A：名詞と後方共起（後方2語までが名詞） → 連体詞用法
例） この前 この白いやつ

B：その他 → フィラー用法が混在？

機械的判断 用法別頻度

表4 「そう」「こう」「この」の用法別頻度

語	用法	頻度	計
そう	A：副詞	2,062	13,749
そう	B1：その他（相槌・応答）	11,606	
そう	B2：その他（相槌・応答以外）	81	
こう	A：副詞	911	1,781
こう	B：その他	870	
この	A：連体詞	882	1,117
この	B：その他	235	

機械的判断 話者別頻度

表5 フィラーの可能性のある「そう」「こう」「この」の話者別頻度

[B2その他] の「そう」

順位	話者ID	頻度
1	T006	7
1	K001	7
2	T013	6
3	T003	4
4	T004_033	3

[Bその他] の「こう」

順位	話者ID	頻度
1	T006	48
2	T007	39
3	S001_009	37
4	T004	33
5	T002	27

[Bその他] の「この」

順位	話者ID	頻度
1	T002	14
2	K002	8
2	T016_001	8
3	C002	6
3	T006	6

映像データ分析 対象話者・会話

「そう」「こう」「この」いずれにおいても、
[その他] = フィラーの可能性のあるものを使用している
話者T006 (IC01_尾形) の発話を分析。

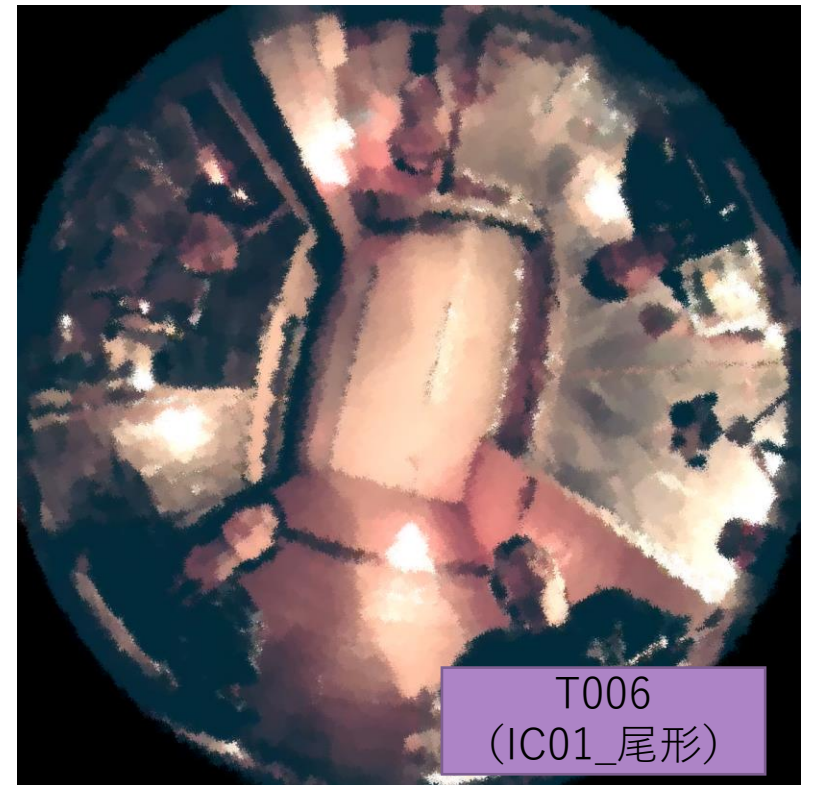
T006_002

大学で後輩2 人と就活について



T006_004

飲食店で
大学の先生・
後輩と
授業の打上げ



映像データ分析「そう」

整調、思い出し、話題の切り替え、自己に対する相槌のフィラーがあると判断できた。

ただし、

「そう」に認められる機能にグラデーションがあるため、映像データをみても認定は難しいといえる。

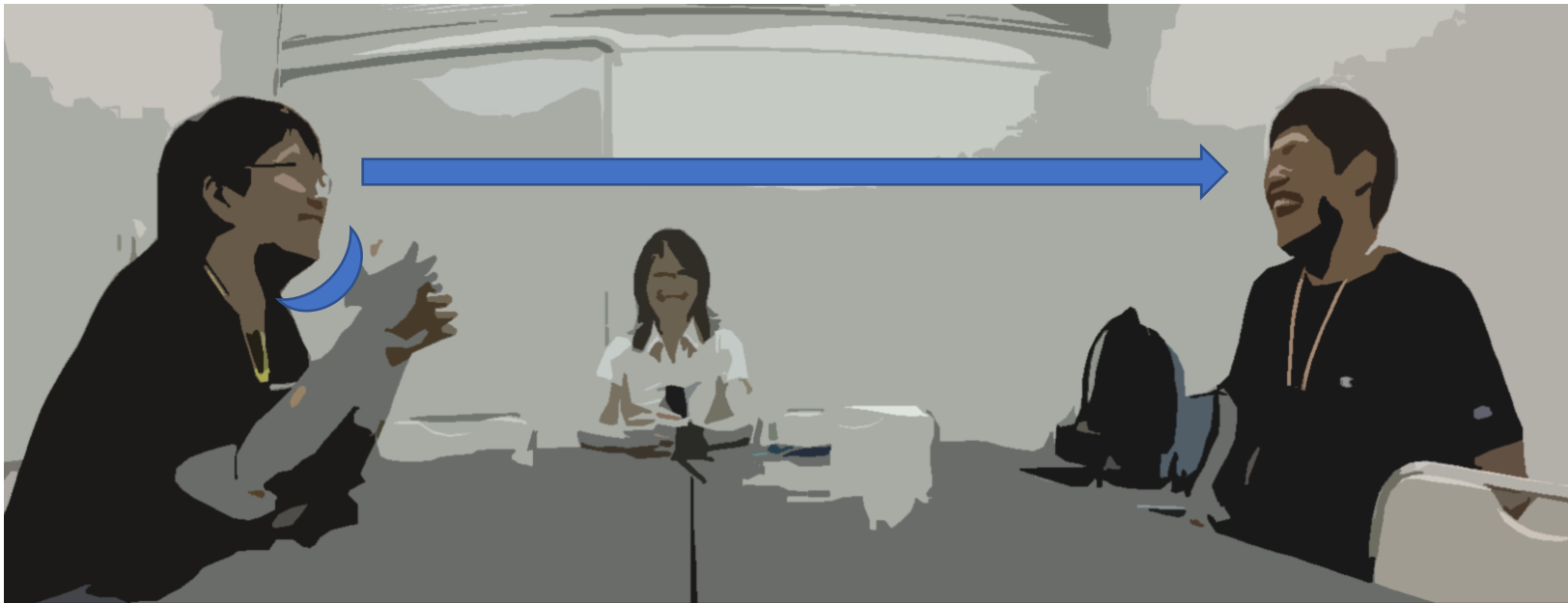
（特に、相槌・応答とフィラーの判断が難しい）



34:09	IC02_富永	感想文:(0.199)書いて。
34:10	IC01_尾形	①そう。
34:11	IC03_青木	それで優っすもんね:。
34:11	IC02_富永	(L)
34:12	IC01_尾形	②そう。
34:12	IC03_青木	(L)
34:12	IC01_尾形	(L)
34:13	IC03_青木	最高じゃないすか。
34:14	IC01_尾形	うん。
34:16	IC03_青木	(T いや:)。
34:16	IC01_尾形	③そう。
34:17	IC01_尾形	俺のね: ④そう (0.277) ん(.)俺 卒論:の先生が 非常勤の(0.36)先生で:。
34:21	IC03_青木	はい はい。
34:21	IC03_青木	うん。



34:09	IC02_富永	感想文:(0.199)書いて。
34:10	IC01_尾形	①そう。
34:11	IC03_青木	それで優っすもんね:。
34:11	IC02_富永	(L)
34:12	IC01_尾形	②そう。



①②そう：
相手を見ながら、頷く。

→相槌



34:13	IC03_青木	最高じゃないすか。
34:14	IC01_尾形	うん。
34:16	IC03_青木	(T いや:)
34:16	IC01_尾形	③そう。

③そう：視線を外して、やや小さく頷く。

- ・ 相手への相槌自体は「うん」で終了。
- ・ 話題の切り替え。

→相槌？ フィラー？



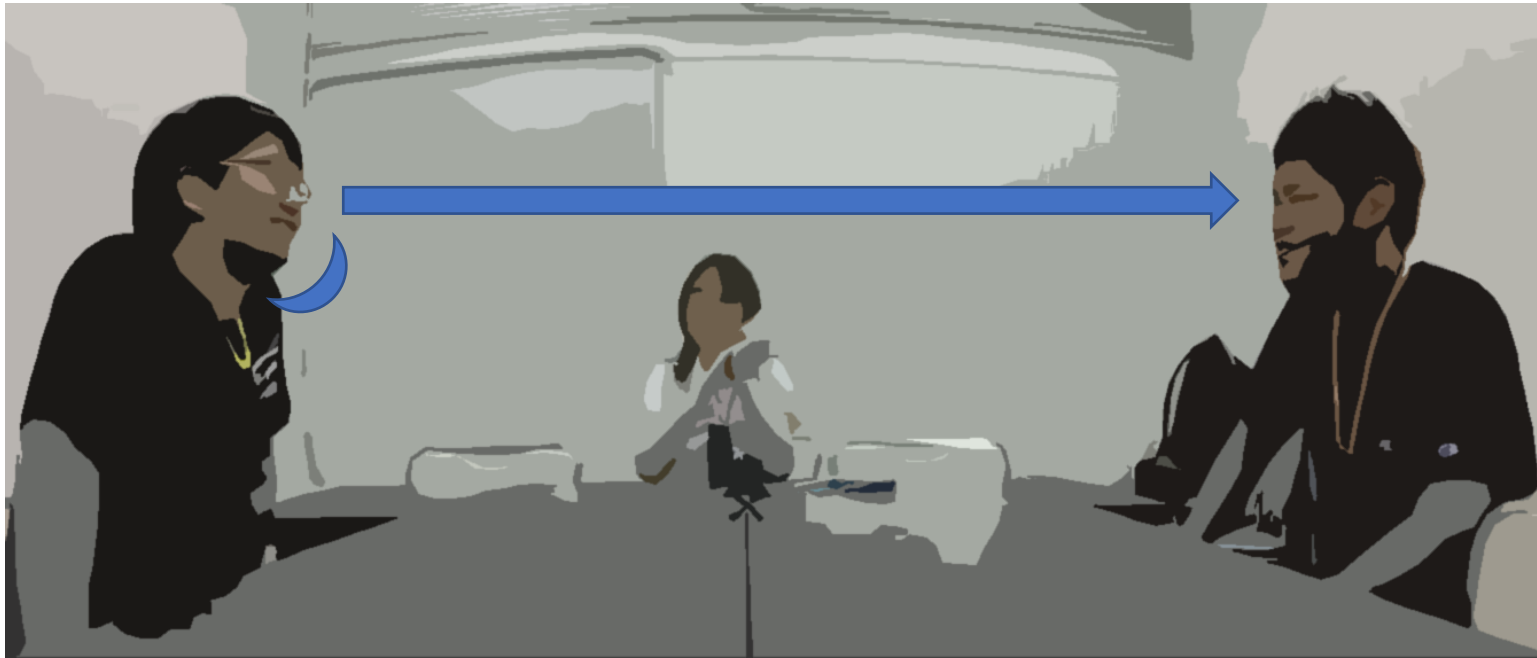
34:13	IC03_青木	最高じゃないすか。
34:14	IC01_尾形	うん。
34:16	IC03_青木	(T いや:.)。
34:16	IC01_尾形	③そう。
34:17	IC01_尾形	俺のね: ④そう (0.277) ん(.)俺 卒論:の先生が 非常勤の(0.36)先生で:。

④そう：顔と視線を右上に向け、
小さく頷く。

- ・リズムを整える（整調）。
 - ・次発話を検索している（思い出し）。
- **フィラー**



37:19	IC01_尾形	ただね それでね 遊びすぎるとね:(0.136)卒業旅行のお金がね:。
37:22	IC03_青木	あー。
37:22	IC01_尾形	(L)
37:23	IC03_青木	はい はい はい はい。
37:24	IC01_尾形	(D ク)①そう
37:25	IC03_青木	(L)
37:25	IC03_青木	親に土下座します:。
37:26	IC01_尾形	俺も(0.26)うー ②そう 卒業旅行 (D ク)最後千円ぐらい足りなくなった(L もん)。
37:27	IC02_富永	(L)
37:29	IC03_青木	(L)
37:30	IC01_尾形	(L)



37:19	IC01_尾形	ただね それでね 遊びすぎるとね:(0.136)卒業旅行のお金がね:。
37:22	IC03_青木	あー。
37:22	IC01_尾形	(L)
37:23	IC03_青木	はい はい はい はい。
37:24	IC01_尾形	(D ク)①そう。

①そう：
相手を見ながら、頷く。

→**相槌**



37:25	IC03_青木	親に土下座します:。
37:26	IC01_尾形	俺も(0.26)うー ②そう 卒業旅行 (D ク)最後千円ぐらい足りなくなった(L もん)。
37:27	IC02_富永	(L)
37:29	IC03_青木	(L)
37:30	IC01_尾形	(L)

②そう：顔を右横、視線を右後ろにしながら小さく頷く。

- ・ 思い出し。
- ・ 自身の発話を導き出すリズム取り。
(受け継ぎ・切り替え)

→ **フィラー**



34:58	IC01_尾形	今年のなんか(0.246)その(D シャ)(0.251)社会福祉協議会だっけ。
35:02	IC01_尾形	埼玉県。
35:02	IC03_青木	はい はい。
35:02	IC03_青木	社協。@社会福祉協議会の略
35:02	IC02_富永	うん。
35:03	IC03_青木	はい。
35:03	IC01_尾形	うん。
35:04	IC01_尾形	の なんか:(0.191)社福枠が:(1.405)毎年ある:んだよね。
35:09	IC03_青木	ああー。
35:09	IC02_富永	へー。
35:09	IC01_尾形	(D フツ)(D フ) 二枠ぐらい。
35:09	IC03_青木	はい はい はい。
35:10	IC01_尾形	でも今年なんか一人しか付かなかった(1.118)とかで:(0.351)なんか(0.657)そうそれが行動に回ってきたらしいよ。
35:17	IC01_尾形	今年。
35:17	IC03_青木	えー。
35:17	IC02_富永	へー。



35:10	IC01_尾形	でも今年なんか一人しか付かなかった(1.118)とかで:(0.351)なんか(0.657) そう それが行動に回ってきたらしいよ。
-------	---------	--

そう：やや視線を下にし、頷く。

- ・ **フィラー相当の「なんか」と共起し、リズムを整える。**

「今年なんか一人しか付かなかった」 = “就職の推薦枠が余っていた”

↓ 「**そう** **それが**」

「行動に回ってきた」 = “別の専攻に回ってきた”

- ・ 「**そう**」以降の内容は、それほど導きにくくはない。
(視線が右上にある「なんか」で検索?)
- ・ 聞き手に挿入してほしかった相槌・応答の「**そう**」を、
自身が代理で行う (自己発話の肯定、自己に対する相槌) 。

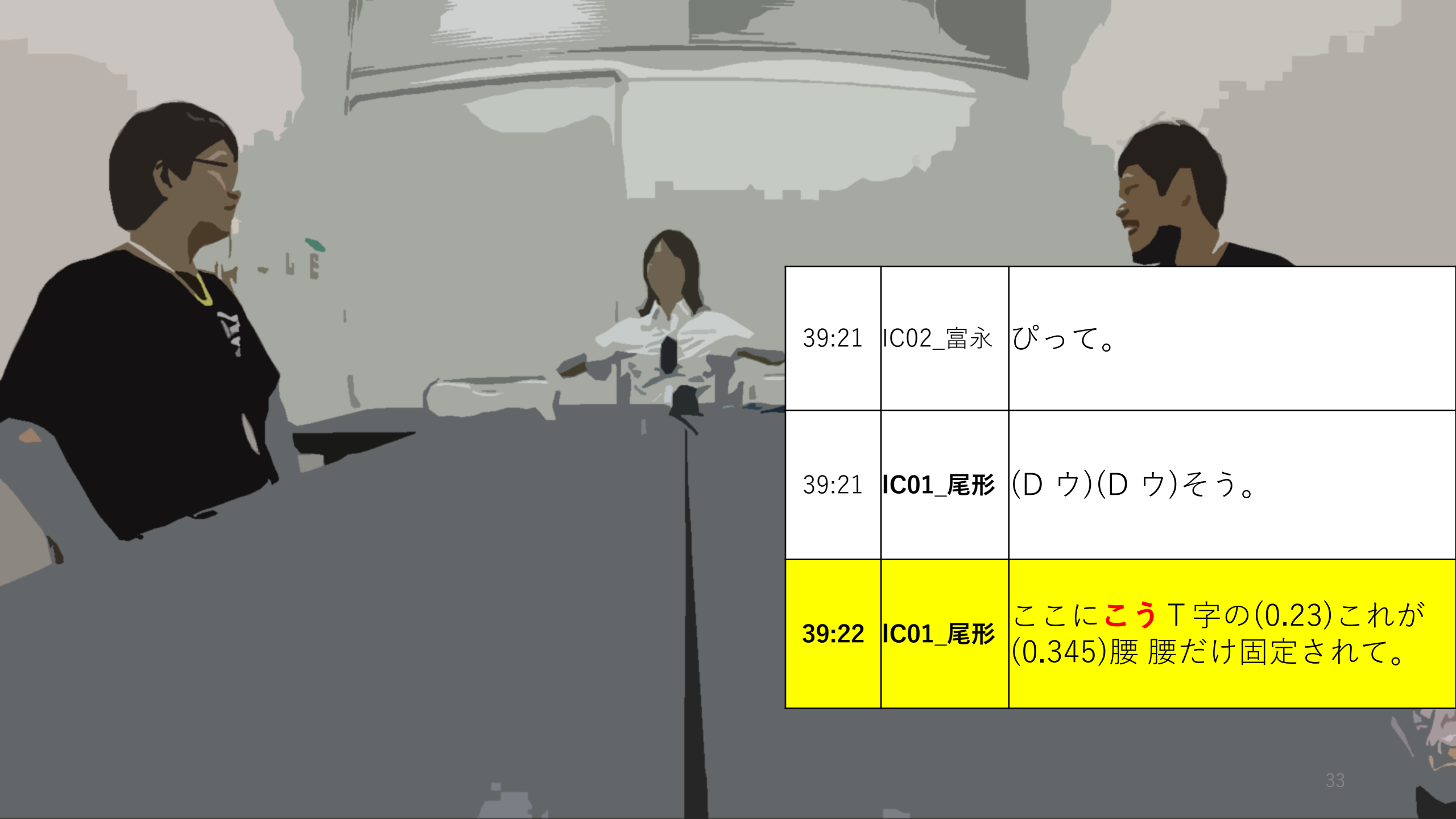
→ **フィラー**

映像データ分析「こう」「この」

「そう」よりも身振りが多く見られた。

「こう」については、**注目の要求、後続発話の導き出しのフィラー**があると判断できた。
多機能であることも確認。

「この」は、**指示性の強弱によって、フィラーに見えるものがあ**った。



39:21	IC02_富永	びって。
39:21	IC01_尾形	(D ウ)(D ウ)そう。
39:22	IC01_尾形	ここに こう T字の(0.23)これが(0.345)腰 腰だけ固定されて。



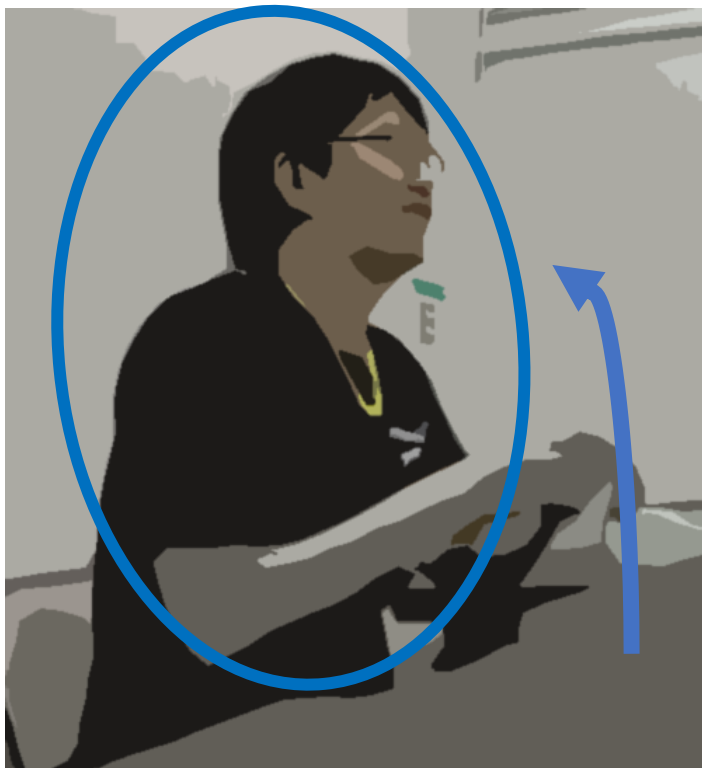
39:22	IC01_尾形	ここに こう T字の(0.23)これが(0.345)腰 腰だけ固定されて。
-------	---------	--

こう：ジェットコースターの安全バーを示す身振りの最中。視線は手元。

- ・動作を伴っている。→**副詞？**
 - ・「ここ」「これ」で創出する身振り空間を注目させる。
 - ・「T字」「固定される」を導き出すための出発点。
- フィラー？**



40:40	IC01_尾形	んで:(0.288)食事はなんか 食事もなんかすごい い感じの(1.028)ビュッフェなんだけど。
40:44	IC02_富永	へー。
40:44	IC02_富永	うーん。
40:45	IC02_富永	(W ウ うん)。
40:45	IC03_青木	(W ハ はい) はい。
40:46	IC01_尾形	(D イ)(0.233)朝 夜と:。
40:48	IC03_青木	いいっすね。
40:48	IC01_尾形	うん。
40:49	IC01_尾形	なんか こう (D ス) (F あの) ステーキ焼いてくれる やつとか(L ある)。
40:51	IC03_青木	(L)
40:51	IC01_尾形	(L)
40:51	IC02_富永	(L)



40:49	IC01_尾形	なんか こう (D ス) (F あの) ステーキ焼いてくれるやつとか(L ある)。
-------	---------	--

こう：上半身をやや後ろに動かす。
(料理人の姿勢になる途中)

- ・ 動作 & 言語的文脈 (「焼く」) を示す。
→ **副詞**？
- ・ 注目の要求。
- ・ 後続発話の導き出し。
→ **フィラー**？



40:17	IC01_尾形	なんだけど。
40:18	IC01_尾形	それで こう (0.748)ホテルに泊まる%と:(.)(F あ の:)(0.641)スパーランドの:(.)(L フリーパス と)(0.3)二(W ロ 日) 二日分フリーパス と:(0.335)その温泉 フリーパスと:。
40:23	IC03_青木	あー。
40:23	IC03_青木	フリーパス。
40:25	IC03_青木	ああ。
40:28	IC03_青木	はい はい。



40:18	IC01_尾形	それで こう (0.748) ホテルに泊まる%と:(.)(F あ の:)(0.641) スパーランドの:(.)(L フリーパス と)(0.3) 二(W ロ 日) 二日分フリーパス と:(0.335) その温泉 フリーパスと:。
-------	---------	---

こう：視線を下にし、右腕を少し浮かせる。

- ・「泊まる」を修飾。 → **副詞？**
- ・後続発話の導き出し（発話全体の予告）。
- ・具体的な身振りが創出できなかった。
→ **フィラー？**



2:46	IC01_尾形	まあただなんか ①こう: 商品券が ②こう (0.126)現金に化けた時のなんか ③こう 得もゆえぬなんか この(0.989)ちょっと ④こう (0.356)やったぜみたい(L な)。
2:48	IC03_青木	はい はい。
2:51	IC02_富永	(L)
2:51	IC03_青木	(L あー)。
2:54	IC02_富永	やった(L ぜ)。



商品券・現金を示すような動作

- ①こう：左手を前に出しつつ、相手を見る。
- ②こう：両手で空間を掴みつつ、相手を見る。
- ③こう：掌を内側に向けつつ、手元を見る。
この：指先を近づけつつ、相手を見る。
- ④こう：指先を近づけ（示し方をさらに小さくしつつ）、
手元を見る。



2:46	IC01_尾形	まあ ただ なんか ①こう: 商品券が ②こう (0.126)現金に化けた時の なんか ③こう 得もゆえぬ なんか この (0.989)ちょっと ④こう (0.356)やったぜ みたい(L な)。
------	---------	--

①こう：左手を前に出しつつ、相手を見る。
 予備動作&フィラー相当の「なんか」と共起。
 →**フィラー**

②こう：両手で空間を掴みつつ、相手を見る。
 身振り空間を指示&「現金に化けた」を修飾。
 →**副詞**



2:46

IC01_尾形

まあ ただ なんか ①こう: 商品券が ②こう (0.126)現金に化けた時の なんか ③こう 得も ゆえぬ なんか この (0.989)ちょっと ④こう (0.356)やったぜ みたい(L な)。

③こう：掌を内側に向けつつ、手元を見る。
考える様子 & 「なんか」と共起
→ **フィラー**



④こう：指先を近づけ（示し方をさらに小さくしつつ）、手元を見る。発音やや不明瞭。
「やったぜ」を修飾。考える様子も。
→ **副詞？ フィラー？**

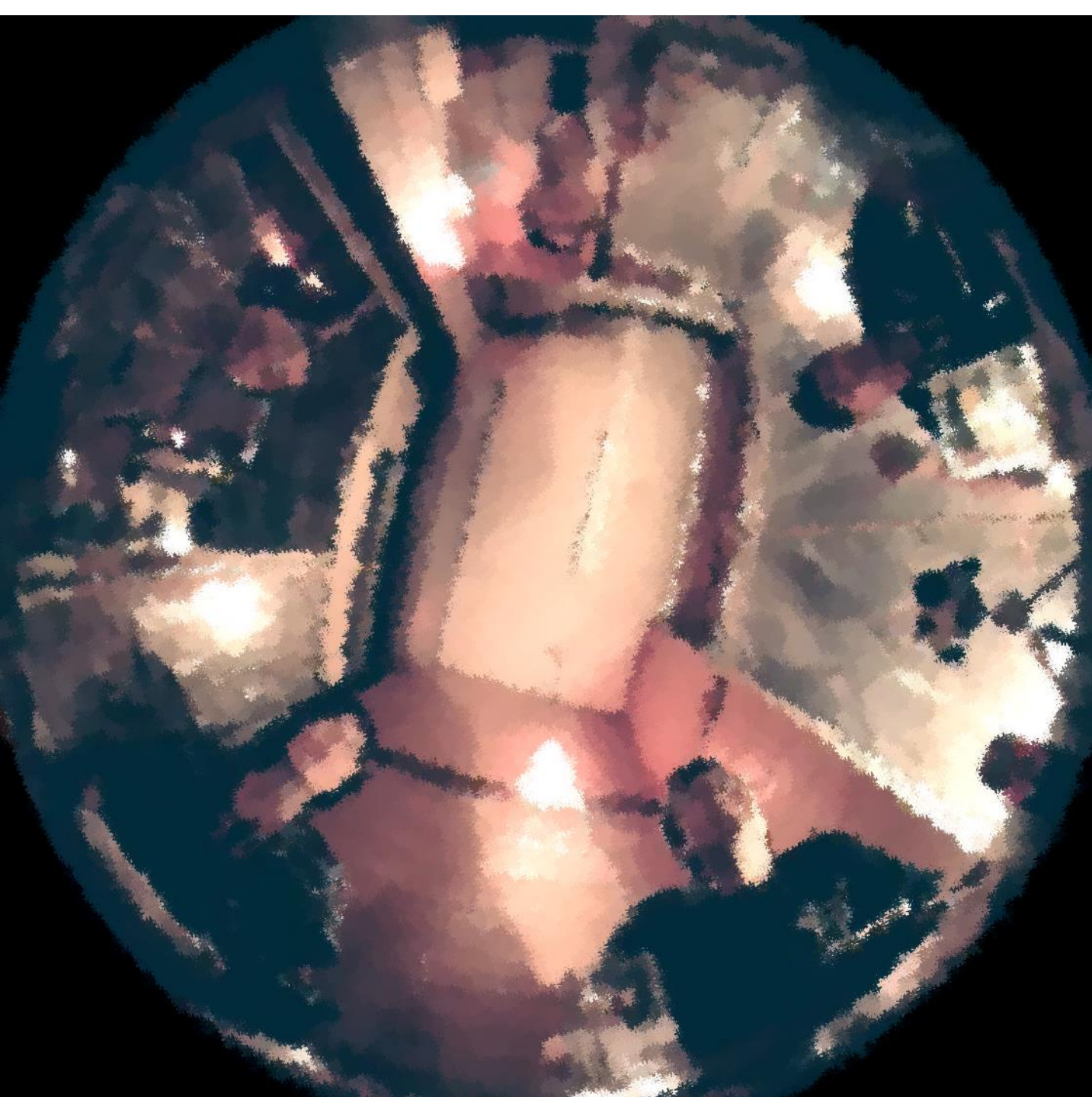


2:46	IC01_尾形	まあ ただ なんか ①こう: 商品券が ②こう (0.126) 現金に化けた時の なんか ③こう 得もゆえぬ な なんか この (0.989) ちょっと ④こう (0.356) やった ぜ みたい(L な)。
------	---------	--

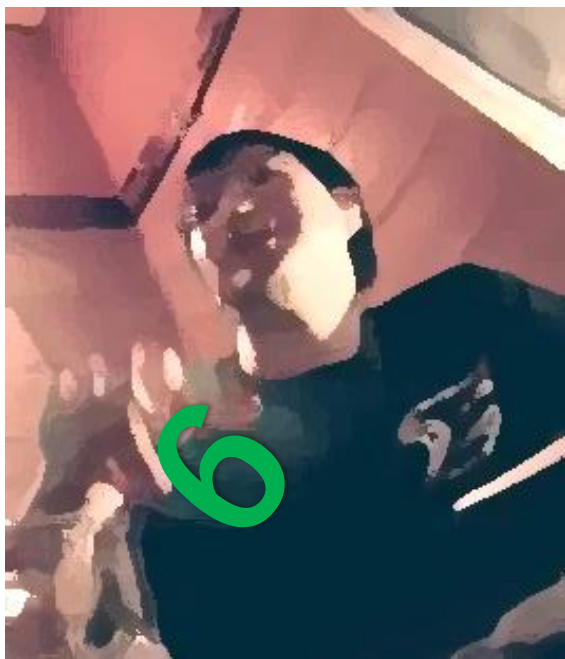
この：指先を近づけつつ、相手を見る。

- ・「得もゆえぬ」「なんか」と共起。
- ・身振り空間に仮設した「現金に化けた商品券」を指し示しつつも、「この」の修飾先は流れている。

→フィラー？ 連体詞？



17:13	IC01_尾形	自分の代の 行動は:(0.55)男 が四人で:。
17:17	IC05_杉山	うん。
17:17	IC03_青木	(L)
17:18	IC01_尾形	で: 女子が あと二十六人で すね。
17:19	IC03_青木	(L)
17:20	IC05_杉山	あー。
17:21	IC04_関本	最近 男 多いよね。
17:22	IC01_尾形	そうっすね。
17:22	IC04_関本	うん。
17:22	IC03_青木	行動 は多いっすね。
17:23	IC03_青木	なんか。
17:24	IC01_尾形	この なんか: (F その) 六期 生だけ:(0.379)なん か:(0.506)突出して少ないで すよね。



17:24 IC01_尾形

この なんか: (F その) 六期生だ
け:(0.379)なんか:(0.506)突出して少ないですね。

この：右手を少し動かす（グラスから離し始める）。

- ・文脈的に何かしら指したいものがある。
前発話で仮設した場を指示する表現か。
→**連体詞**？
- ・「なんか」「その」と後方共起。
- ・「その」の時点から指で「6」を描き始めるが、
「この」の時点では身振りを創出できず。
→**フィラー**？

まとめ

○メイエ（2007：35）

「話し言葉は、常に話し相手の注意を引き、感受性に訴える ことなくしては存在し得ない」

○フィルター認定確認の目的で始めた作業だったが、特にコウ・ソウ・コノについては、**フィルターとフィルター以外は連続的である**と考えた方がよいのではないか、と思われた。その意味で、CEJCにおけるフィルター認定の方法は妥当であるといえる。

○逆に**なぜ指示語はフィルターになり得るのか**、というところから考えてもよいのではないだろうか。

- **コソア型のフィラーは指示性を残しつつ**、聞き手に寄り添った発話者の態度も示す。これらを**指示性と聞き手への態度との相関関係**として見る見方も可能である。
- **現場の身振り空間とそこで発せられる言葉**の両方に「コウ」「コノ」は関係づけられる、という二重性を有している。
- 「ソウ」でも「コウ」でもフィラー的用法で用いられれば、語彙的意味の少ない、**すきまのある形式を投げかけて、あとからそれを埋め合わせる**という方策をとったことになる。
- 認定に揺れが生ずるようなケースが多くあることを考えると、**コソア系のフィラーを、話し言葉における指示語の連続的な様相の一環として捉える**という方向も可能かと思われる。

謝辞・参考文献

本発表は、国立国語研究所のプロジェクト「大規模日常会話コーパスに基づく話し言葉の多角的研究」（プロジェクトリーダー・小磯花絵）による研究成果です。ここに感謝申し上げます。

参考文献

- 小磯花絵・天谷晴香・石本祐一・居關友里子・臼田泰如・柏野和佳子・川端良子・田中弥生・伝康晴・西川賢哉（2019）「『日本語日常会話コーパス』モニター公開版の設計と特徴」、『言語処理学会第25回年次大会発表論文集』， pp.367-370
- 小磯花絵・天谷晴香・石本祐一・居關友里子・臼田泰如・柏野和佳子・川端良子・田中弥生・伝康晴・西川賢哉（2019）「『日本語日常会話コーパス』モニター公開版 コーパスの設計と特徴」， 国立国語研究所日常会話コーパスプロジェクト報告書3
- 臼田泰如・川端良子・西川賢也・石本祐一・小磯花絵（2018）「『日本語日常会話コーパス』における転記の基準と作成手法」，『国立国語研究所論集』15号， pp.177-193

参考文献

- 串田秀也（2002）「会話の中の『うん』と『そう』一話者性の交渉との関わりで一」，定延利之編『「うん」と「そう」の言語学』，ひつじ書房
- 小出慶一（2006）「フィラー『このー』『そのー』『あのー』について：その由来、機能、相互関係」，埼玉大学紀要（教養学部）42（2），pp.15-27
- 小出慶一（2010）「日本語学習者の発話に見られるフィラー『こう』について」，埼玉大学紀要（教養学部）46（2），pp.99-112
- 近藤安月子・小森 和子（2012）『研究社 日本語教育事典』，研究社
- 定延利之・田窪行則（1995）「談話における心的操作モニター機構—心的操作標識『ええと』と『あのー』—」，『言語研究』（日本言語学会）108，pp.74-93
- 定延利之（2002）「『うん』と『そう』に意味はあるか」，定延利之編『「うん」と「そう」の言語学』，ひつじ書房
- 定延利之（2013）「〔フィラー〕 フィラーは名脇役か？」，『日本語学』32（5），明治書院，pp.10-25
- 城綾実（2017）「秩序だった手の動きが誘う相互行為—意味の共同理解を試みる活動を例に」，『日本語学』36（4），明治書院，pp.177-189
- 城綾実（2018）『多人数会話におけるジェスチャーの同期—「同じ」を目指そうとするやりとりの会話分析』，ひつじ書房
- 高木智世・細田由利・森田笑（2016）『会話分析の基礎』，ひつじ書房
- 筒井佐代（2012）『雑談の構造分析』，くろしお出版

参考文献

- 伝康晴（2007）「多人数会話におけるしぐさの語用論」『言語』36（12），大修館書店，pp.48-55
- 富樫純一（2013）「感動詞・応答詞の分析手法」，『日本語学』32（5），明治書院，pp.26-35
- 日本語教育学会編（2005）『新版 日本語教育事典』，大修館書店
- 林誠（2008a）「相互行為の資源としての投射と文法—指示詞『あれ』の行為投射用法をめぐって—」，『社会言語科学』10（2），pp.16-28
- 林誠（2008b）「会話における『指示』と発話の文法構造」，児玉一宏・小山哲春編『言語と認知のメカニズム—山梨正明教授還暦記念論文集—』，ひつじ書房
- 坊農真弓（2002）「プロソディからみた『うん』と『そう』」，定延利之編『「うん」と「そう」の言語学』，ひつじ書房
- 坊農真弓（2008）『日常会話における言語・非言語表現の動的構造に関する研究』，ひつじ書房
- 坊農真弓（2016）「手話雑談におけることばと身体とマルチアクティビティ」，村田和代・井出里咲子編『雑談の美学』，ひつじ書房，pp.97-117
- メイエ，アントワーン（2007）松本明子編訳『いかにして言語は変わるか—アントワーン・メイエ文法化論集—』，ひつじ書房
- 山根智恵（2002）『日本語の談話におけるフィラー』，くろしお出版

ご清聴ありがとうございました

